

猿庫の泉周辺一帯の整備事業

取組に至る背景・事業の目的

「昭和の名水百選」（環境庁（現・環境省）選定）に選ばれた「猿庫の泉」は古くから茶の湯に適した名水と言われ、多くの皆さんに親しまれてきた。特に近年は遠方からの利用者や大型バスの観光客の来訪も増えてきた。

そうしたなか、羽場曙友会生産森林組合（以下、「羽場曙友会」）を中心に、地元の羽場まちづくり委員会、猿庫の泉保存会、飯田観光協会が実行委員会を立ち上げ、協力して利用環境の向上、整備に取り組んだ。

事業内容

- 1 前泉を新設
源泉に登る手前、坂道の間地点に新しい泉を設置し、体の弱い方やバスツアーで時間が限られている方でも手軽に名水を楽しんでいただけるようにした。
- 2 水汲施設の拡充
従来の水汲施設の改良、増設をしたことで、これまで順番待ちの行列が出来ていた状態が解消した。
- 3 景観を整備
地元小中学生を招待してツツジ、シャクナゲ、モミジ等の植栽を行った。周辺の間伐、草刈り、清掃活動も行った。
- 4 遊歩道の整備
前泉から源泉の方向にウッドチップを敷き詰めた遊歩道を整備し、爽快な森林浴が楽しめるようにした。



【景観整備の様子】

事業効果

- ・各施設が拡充、景観も整備され、茶の湯の愛好家をはじめ多くの皆さんが「猿庫の泉」を訪れやすくなり、来訪者が増加した。
- ・前泉、水汲施設の利用者からは多くの称賛の声が寄せられ、地域の魅力、地域の宝として、地元住民の自慢にも繋がった。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- ・「猿庫の泉」周辺一帯は、所有者である羽場曙友会が、静寂で幽玄の別世界である環境を基本とし大切に守ってきたものである。保安林指定地でもあり簡単には駐車場の造成工事等は出来なかった。そうしたなかでの環境整備であり、景観の基本を守る事業としての工夫・検討には苦勞をした。
- ・今後も、羽場曙友会（前泉、水汲施設、植栽地の管理）、猿庫の泉保存会（猿庫の泉周辺の管理、呈茶サービス）、羽場まちづくり委員会（清掃活動）、飯田観光協会（各種宣伝活動）が協力して、10年後に開通予定のリニア新幹線時代に向けて、地域の観光拠点となるよう整備していく。
- ・かつて「猿庫の泉」を見つけた不蔵庵竜溪宗匠がお茶をたてた「茶点岩」を中心に、猿庫の泉周辺を周遊するウォーキングコースを整備。自然を楽しみ、満喫できる観光地づくりを進めていく。

【選定のポイント】

羽場曙友会ほか地域団体、羽場地区住民、丸山小学校や飯田西中学校の児童生徒が参加し、協力して環境整備を行った点を評価。地域の宝である「猿庫の泉」の利用環境を向上させた。今後更なる利用客の増加が見込め、観光拠点としての発展が期待できる。

団体名	猿庫の泉活性化実行委員会(飯田市)	事業タイプ	ハード事業
連絡先	0265-22-4997 (羽場曙友会生産森林組合)	事業費	5,295千円
		支援金額	3,446千円